

特集

胃 痛

ISSN 0371-1900
平成16年12月1日発行
(毎月1回1日発行)
昭和27年5月2日
第3種郵便物認可

総合 臨床

12

CLINIC ALL-ROUND

2004 | VOL.53 | NO.12

特集

胃 痛

診断の指針・治療の指針

ACE阻害剤による肝癌治療の可能性
生物学的製剤による関節リウマチの治療
臨床現場での相補代替医療 (CAM)
手足口病に合併する中枢性神経疾患
薬剤による眠気
乳幼児難聴の診断と療育
舌痛症
冬場の皮膚掻痒症

グラフ

心エコーの実際
臨床医のためのやさしい心電図の読み方
日常診療の超音波診断 消化器疾患を診る
消化管のマルチスライスCT - 診断から手術支援まで -



永井書店

舌所見と胃腸機能

Tongue findings and gastrointestinal function

特集

渡辺 賢治
WATANABE Kenji

胃 痛

Key words 舌診 白苔 胖大 四診

舌を見るというのは通常の西洋医学の診察法にはないが、漢方医学の診断においては重要な意味を持つ。ここではまず舌を見る、という診察行為が漢方の診断の中でどのような位置を占めているのかについて述べる。

I. 舌の所見の位置づけ

漢方医学の診断法は聴診器や打鍵器などの診察道具や超音波、CT、MRIなどの診断機器の全くない時代に確立したものであるから全くの五感に頼った診察方法である。しかし、現代の漢方医学の現場では当然これらの診察道具、診断機器をも利用しながら治療法を決定していく。

しかし、漢方薬の選択には漢方独特の診断法に拠ることが多い。これらの診察法は四診と呼ばれ、望、聞、問、切の四種類から成る。

1. 望 診

視診のことを漢方では望診という。舌診はこの望診の一部である。

2. 聞 診

字のごとく聞こえるものによって診断することであるが、声のトーンであるとか喘鳴などが含ま

れる。また、臭覚で分かるものも含まれるが、肺膿瘍の膿臭であるのかも聞診である。

3. 問 診

少しポイントは異なるが西洋医学の問診と同じである。

4. 切 診

実際に患者に触れる診察で脈診と腹診が重要視される。腹診はわが国で独自に発展したもので漢方医学を特徴づけている。

個々の診察法は成書¹⁾²⁾を参照していただくとして本稿では舌の診断につき述べる。

II. 舌診のポイント

舌の診察は体調を知るうえで重要な情報をもたらすが、西洋医学ではあまり重視されていない。上に述べたように日本の漢方では腹診を重視し、処方決定のために必要な診察法であるが、短時間で変化するものでもないので日常診療の中では初

診時および症状の変化の会ったときに行っている。それに比べ舌はそのときどきで変化が分かりやすく、簡便なため必ず診察を行うことをお勧めする。

舌診の観察ポイントを以下に示す。

まず口を大きく開けてもらい舌を前に出してもらうのであるが、この際舌に力が入っていると辺縁の状態が観察しにくいので力を抜いてもらう必要がある。次に舌を裏返してもらい、舌小帯の左右に舌下静脈が走行しているが通常はあまり見えない。しかし瘀血(おけつ：末梢循環障害と考えられる)がある場合にはこの舌下静脈が怒張してくる。

1. 大 き さ

舌の大きさがぼてっと大きい場合は胖大(はんだい)と称する。逆に厚みが薄かったり細い場合は痩せている、という表現をする。

2. 舌 質

舌の湿り具合によって生体が脱水状態にあるかむくんだ状態にあるかが判断できる。

3. 舌 色

正常な舌は淡い紅色であるが、貧血や胃腸の弱いものは淡白である。末梢循環障害のある瘀血(おけつ)の所見が舌に現れてくるとその程度により紅～暗紅～紫色を呈する。中には生来色素沈着のある瘀斑(おはん)を呈する場合もあるので注意を要する。

4. 舌 苔

普段から舌に白い苔のある場合は胃腸の働きが衰えていることを表す。熱のあるときに出てくる白い苔で口が粘り、少し咽が渇くようになると小柴胡湯、柴胡桂枝湯の適応となる。熱性疾患が長引いてくると黄色から黒い苔に変わってくることもある。舌が黒くなってくると腸の中に熱がこもっている場合で下剤の適応となるか、体力が衰

えて体を温める必要のある場合である。

5. その他の特徴的な所見

1) 鏡 面 舌

苔も舌乳頭も消失して鏡のようになった状態である。

2) 歯 痕

逆に舌がむくんで辺縁に歯型のついている状態である。

3) 舌下静脈怒張

瘀血の徴候で舌の裏側の静脈が拡張している所見である。

Ⅲ. 舌所見と胃腸機能

舌の大きさをまず観察する。舌が力なく大きい(胖大)のは胃腸の機能が衰えている所見である。漢方医学では気虚と呼ばれる状態で、易疲労感、食欲低下などの症状を自覚していることが多い。このような場合、漢方薬としては補中益気湯、小建中湯などが用いられる(図1)。

次に舌苔を観察する(図2)。舌苔は通常無苔か微白苔であるが、白い苔がついてくると胃の運動能、拡張能の低下が示唆される。漢方治療としては四君子湯、六君子湯などが選択される^{3)~5)}が、四君子湯と六君子湯の違いは舌苔の厚さで判断する。六君子湯は四君子湯に比し陳皮、半夏の二つの生薬が加わったものであるが運動能の調整作用が強く、胃粘膜の障害に加え運動能の低下したものが適応となる。多くの患者は食後の膨満感、空腹感の欠如を訴える。六君子湯は Functional dyspepsia に対して RCT によるエビデンスもある⁵⁾。また胃のつかえ感が強い場合で、腹診上心窩部に抵抗、圧痛を認める場合には半夏厚瀉心湯が選択される。一方、舌苔がなく、冷えを伴うような胃腸機能低下には人參湯が用いられる。

また舌苔が厚くても腹部膨満感などよりも胃の粘膜障害が強く、胃炎、潰瘍などを伴う場合には柴胡桂枝湯が選択される。さらに安中散を投与す



図1 舌の大きさ

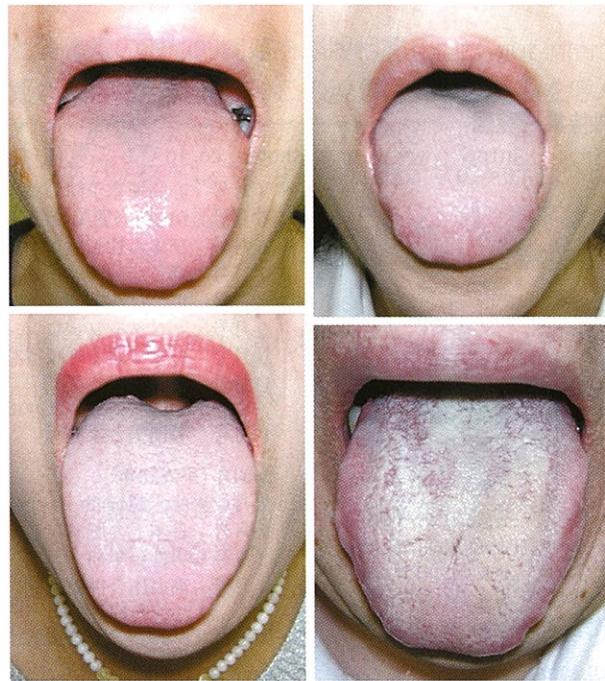


図2 舌 苔

ることにより胃酸分泌が低下し、胃痛症状の緩和につながる。これには安中散に含まれる延胡索の胃酸分泌抑制作用による。

以上、舌診は簡便に行え、所見から胃腸機能を推察できる重要な情報源であるため、日常診療でルーチンに行うことをお勧めする。

文 献

- 1) 大塚敬節著：漢方医学。創元社，大阪，2001.
- 2) 大塚敬節，矢数道明，清水藤太郎著：漢方診療医典。南山堂，東京，2004.
- 3) 三好秋馬，ほか：胃炎(急性胃炎および慢性胃炎の急性増悪期)に対する TJ-43ツムラ六君子湯の

- 臨床評価. 診断と治療 4:789-810, 1991.
- 4) 竹本忠良, ほか: 上腹部愁訴を有する胃炎に対する TJ-43ツムラ六君子湯の臨床的有用性の検討.
消化器科 12:223-234, 1990.
- 5) 原澤 茂, ほか: TJ-43ツムラ六君子湯の胃排出能に及ぼす影響と臨床治療効果についての検討.
消化器科 12:215-222, 1990.

■総合臨牀・既刊特集一覧■

詳細はホームページ <http://www.nagaishoten.co.jp>でもご覧頂けます

2001年(平成13年)

- 11月号 水・電解質・酸塩基異常, 輸液療法 定価2,415円/〒148円
- 12月号 過栄養・偏栄養と生活習慣病 定価2,415円/〒148円

2002年(平成14年)

- 1月号 アルツハイマー病 定価2,415円/〒148円
- 2月号 急性肺動脈塞栓症 定価2,415円/〒148円
- 3月号 腎疾患臨床の新展開 定価2,415円/〒148円
- 4月号 ここまで進んだ心不全治療 定価2,415円/〒148円
- 5月号 ストレスのプライマリ・ケアー内科診療のためにー 定価2,415円/〒148円
- 6月号 現代の肝疾患 定価2,415円/〒148円
- 7月号 膠原病と合併症 定価2,415円/〒148円
- 8月号 重症患者のモニタリング 定価2,415円/〒148円
- 9月号 増えたがん・減ったがん 定価2,415円/〒148円
- 10月号 医療従事者の危機管理 定価2,415円/〒148円
- 11月号 感染性胃腸炎 定価2,415円/〒148円
- 12月号 脳卒中のリハビリテーション 定価2,415円/〒148円

2003年(平成15年)

- 1月号 EBM時代の新しい臨床検査 定価2,415円/〒148円
- 2月号 高齢者の内分泌異常 定価2,415円/〒148円
- 3月号 環境アレルゲン 定価2,415円/〒148円

- 4月号 心筋梗塞予防の基本計画 定価2,415円/〒148円
- 5月号 DICの病態・診断・対策 定価2,415円/〒148円
- 6月号 びまん性肺陰影を読む 定価2,415円/〒148円
- 7月号 老年症候群 定価2,415円/〒148円
- 8月号 癌の疼痛制御 定価2,415円/〒148円
- 9月号 インターフェロン 定価2,415円/〒148円
- 10月号 外来で診る呼吸器感染症 定価2,415円/〒148円
- 11月号 睡眠医学ー総合的な睡眠診療をめざしてー 定価2,415円/〒148円
- 12月号 専門医と家庭医 定価2,415円/〒148円

2004年(平成16年)

- 1月号 臨床超音波 定価2,415円/〒148円
- 2月号 日本人の肥満症 定価2,415円/〒148円
- 3月号 男性更年期 定価2,415円/〒148円
- 4月号 高血圧合併糖尿病ービットフォールと対策ー 定価2,415円/〒148円
- 5月号 かゆみー愁訴の単位としてー 定価2,415円/〒148円
- 6月号 ワクチン 定価2,415円/〒148円
- 7月号 成人T細胞白血球/リンパ腫 定価2,415円/〒148円
- 8月号 健康推進・全身疾患予防 定価2,415円/〒148円
- 9月号 循環器系疾患ー予防最前線 定価2,415円/〒148円
- 10月号 感覚器官の異常と診療 定価2,415円/〒148円
- 11月号 個人診療所での緊急医療 定価2,415円/〒148円

| | | | | | |
|---------|------------------------|----------------|---------|-------------------------|----------------|
| 1999年増刊 | 高齢者診療ガイド ー介護保険に向けてー | 定価8,400円/〒450円 | 2002年増刊 | 検査計画法 | 定価8,400円/〒450円 |
| 2000年増刊 | 処方計画2000 | 定価8,400円/〒450円 | 2003年増刊 | 理解して実践する 感染症診療・投薬ガイド | 定価8,400円/〒450円 |
| 2001年増刊 | 循環器の 画像診断ガイド | 定価8,400円/〒450円 | 2004年増刊 | 救急マニュアル2004 | 定価8,400円/〒450円 |

定価は税込の価格です